

婚活

深刻な日本の少子化現象は、託児所や子供手当の不備などより、単に結婚しない人が増えたことによるといわれています。

別に男女ともに結婚を望んでいないわけではなく、お互いの出会いとマッチングに問題があるとされ、2007年雑誌“AERA”に“婚活”という言葉が登場しました。

結婚したくてもできない未婚者の状況認識と現実のギャップ、“愛情か経済力か”、待っていても理想的な結婚相手は現れない、妻子を養い豊かな生活ができそうにない、そういったことで婚活が社会的流行現象になっている理由、それに外国での状況を加えてこの道の有識者が実数を示して語っています。

遠い昔ほんのできごとで夫婦になった私どもですが、時代は違ってもその推移など参考になりました。次は“枯れてたまるか・・・”に挑戦していますが、それぞれの年代に応じた考えがあっていいと思います。

でも一読を

平成22年8月16日

理事長 市丸 喜一郎

参考書：「婚活現象の社会学」

山田 昌弘（編著）

東洋経済新報社

（はまゆう倶楽部図書）